

## グローバル化の功罪

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者  
加入協会

関東財務局長（金商）第430号  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2023.02.28

人+産業金融=成長  
成長を支える投資の原点へ

HC  
*asset*  
management

## グローバルとインターナショナルの違い

インターナショナルは、字義としては、国家と国家の関係ですが、実際には、一つの国家を中心にして、その国家と他の国家との関係を意味しています。それに対して、グローバルは、字義通り、国家を超えた地球という次元にあります。

故に、理屈上、真のグローバルは、地球が一つの国家に統合されたときに成立します。そして、地球が一つの国家になれば、国家という概念自体が根本的に変質するはずですが。現状、国家は、他の国家との関係において、即ち、インターナショナルな地平において、成立しているからです。

## 社会課題解決の主体としての企業

現代のグローバル経済のもとでは、企業活動は国境を越えて展開され、企業の国籍自体が無意味化しています。国連のSDGsはその典型ですが、国民国家では解決できなかった、人類に共通する課題の解決主体として、企業価値を高めるために合理的な経営行動をとる企業への期待が高まります。

## 国際分散投資への影響

完全なグローバル化は、企業の無国籍化を生じさせて、株式の国籍を無意味にするため、国別の分散効果は本質的な意義を失います。一方で、ローカルなものの魅力は高まるので、グローバル化の影響を受けないニッチな投資対象にこそ、真の分散効果があるといえます。

## 多様性(ダイバーシティ)

グローバル化とは、何か一つのものに統合されることではありません。そもそも、理性以外には人間には共通するものはなく、全てが個性的なのです。グローバルは、理性による支配であると同時に、多様な感性、心性、価値観、言語、食べ物、着るものなど全ての個性的なものの共存です。故に、グローバルと並んで、もう一つの重要概念が多様性(ダイバーシティ)になるわけです。グローバルは、多様性と組み合わせさせて、真に意味のあるものになるのです。

# グローバル経済の成立と企業活動への期待

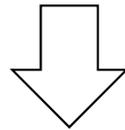
## 人類の歴史＝暴力による政治的支配の歴史

ある経済の発展段階は、それに適合した政治的支配の構造をもつため、次の発展段階への断絶的飛躍に際しては、旧段階に適合した支配構造は必ず新段階を担う勢力によって暴力的に覆されねばなりません。

そして、その暴力は、国民国家を成立させ、ついに自らの暴力を否定して、国内においては理性の支配を実現しましたが、逆に、戦争という国家間の暴力の行使を正当化させるなど、国家間の対立は常に不合理な帰結を生み出し続けています。

## グローバル経済の成立＝理性による支配の実現

地球上の人間の生活、それが作り出す人の交流、その結果生じる文化的諸現象と経済活動、それら全ての分野におけるグローバル化の進展は、国民国家の枠を徐々に侵食していき、最終的に一つの世界市民社会を出現させ、暴力を廃絶して理性の支配を実現し、国民国家体制のもとで解き得なかった社会的問題を解消させます。



## 社会改革における主体は企業活動へ

現代の企業活動は国家の枠を越えて展開され、企業の国籍自体が無意味化しています。

国家間の関係を前提としない、一企業対一顧客という発想への転換こそが真のグローバル化であり、国際的なルールの統一が進むにつれ、人類共通の課題の解決主体としての企業へ期待は、国民国家への期待以上に高まります。

# グローバル経済の影響

グローバル経済の進展により、国際的なルールの統一化は高度に進みます。例えば、ヨーロッパ先進経済圏など、統合に向けた経済改革の過程では、各国の債券は限界的な対象として投資妙味があるものの、金融政策の連携が強まるにつれて、徐々に分散効果が低下してきました。完全なグローバル化においては、企業の無国籍化を生じさせて、株式の国籍を無意味にするため、国別の分散効果は本質的な意義を失います。

## 真の国際分散投資とは何か

グローバル化においては、地球全体が閉鎖された経済圏となります。しかし、地球上全ての資金調達手段に投資することは不可能であり、また、各国の基軸通貨に拘束されるため、地球上全ての投資家が必ず利益を得るとは限りません。

国際分散投資の第一歩は、地球全体のなかから一部の投資対象を選択し、自分なりの地球を定義することです。このとき、一方では、地球全体を複製する、即ち、地球を主にして、そのなかに日本を位置付けるべきではありますが、他方では、日本の円という特定の通貨から投資するのであれば、日本を主にして、日本に対する関係で、日本以外の地球を定義する方向も重要になります。

- 日本を含む地球という視点（グローバル）
- 日本を除いた外国という視点（インターナショナル）

→ 株式、債券、多種多様な実物資産、投資としての融資、プライベートエクイティなど、地球上の広範囲な対象を視野に入れて、少数の対象を厳選するところに投資の技術があります。また、ローカルなものが高まるので、グローバル化の影響を受けないニッチな投資対象にこそ、真の分散効果があるといえます。

## 講演後アンケート

---

今後の運営に活かしたく、下記リンクよりご意見やご感想いただけますと幸いです。

アンケートURL: <https://forms.gle/RjY2jDV99UuKxbW58>

- 本ウェビナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。